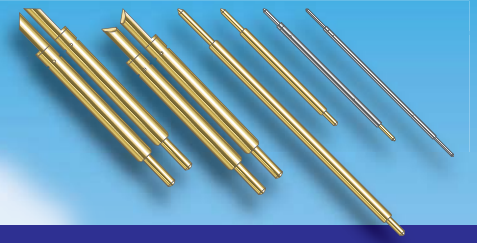




KITA

株式会社喜多製作所



会社案内

ご挨拶



会長 喜多敏明

喜多製作所とスプリングピンの歴史は、1972年のスプリングピンの製造開始以来40年を超えています。その技術蓄積はお客様の付加価値創造に活かしていただけると確信しています。いつも「お客様の立場に立って仕事をしよう」を合言葉にものづくりに取り組んでいます。今後もその姿勢を堅持し、世界の電子回路、半導体技術の発展に貢献していきたくと考えています。



代表取締役社長 喜多智彦

当社のスプリングピンは電子部品・半導体検査においては欠かせない部品として、世界中でご使用いただいております。技術進化が目まぐるしい電子部品・半導体分野において、お客様の進化に貢献できるよう、従業員一人ひとりが新たな価値創造に挑戦し、製品づくりに邁進してまいります。今後も一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

社是

「いい会社を作りましょう」

すべての社員の皆さんが、それぞれの立場で、いい会社にしようと考え、行動することで、いい会社になるのです。

会社にかかわるすべての人から「いい会社だ」といわれる会社にしましょう。

経営理念

進化する世界の電子部品業界の未来を見つめ、高度な精密加工技術をもって、お客様企業の付加価値創造に貢献します。

そのために

1. 顧客満足のための、品質・コスト・納期を追求します。
2. 幅広く情報を収集し、技術を革新し続けます。
3. 理念、目標を共有し、物づくりのエキスパート集団となります。

沿革

- 1963 大阪市東成区大今里 1-26-3 にて喜多康明により精密部品製造を開始
- 1965 東大阪工場建設・操業開始
- 1969 資本金 300 万円にて法人「株式会社喜多製作所」を設立
電機部品・マシン部品製造
- 1972 スプリングピン製造開始
- 1974 全国販売開始
- 1976 スプリングピン全自動組立機導入
- 1977 資本金 600 万円に増資
- 1983 営業部門 大阪ミクロン工業株式会社を設立
- 1986 資本金 1,200 万円に増資
- 1994 喜多敏明が社長就任
- 1995 表面処理部門を設立
事務所増築
フィリピン工場操業開始
- 1997 大今里工場にトランスファープレス導入
- 1998 大今里工場増築
大今里工場マシニングセンタ導入
スプリングピン及び関連部品について ISO9002 取得
資本金 2,400 万円に増資
- 2001 俊徳工場竣工
- 2003 ISO9001 取得
- 2005 本社機能・各工場を統合し、大阪府泉南市のりんくう工場（現本社工場）へ移転
- 2007 ミツワ技研株式会社をグループ化
- 2012 KITA USA を設立
- 2013 喜多敏明が会長に、喜多智彦が社長に就任
ミツワ技研株式会社を吸収合併
- 2016 りんくう第2工場6月竣工



KITA

株式会社喜多製作所



会社案内

概要

商号	株式会社喜多製作所
設立	1969年2月
所在地	本社 〒590-0535 大阪府泉南市りんくう南浜 4-27 TEL: 072-485-1900(代) FAX: 072-485-1901
社員数	本社工場: 120名 グループ全体: 200名
取引・納入先	アメリカ・アジア・ヨーロッパなどの半導体メーカー、電機メーカー、プリント基板メーカー、プリント基板治具メーカー、ICソケットメーカー等 約700社
取引銀行	みずほ銀行(東大阪支店) 三菱東京UFJ銀行(東大阪支店) 紀陽銀行(羽倉崎支店) 南都銀行(泉佐野支店) 日本政策金融公庫(東大阪支店)
営業品目	スプリングピン エレクトロニクス関連製品 精密金属部品 など



KITA Worldwide Network



喜多製作所のスプリングピン

喜多製作所の主力製品であるスプリングピンは、様々な電子機器で使用される半導体製品(IC)や基板などの性能検査に用いられています。特に力を入れているIC検査用スプリングピンは、IC検査機器のプリント基板に固定された治具(ICソケット)内に組み込まれ、検査対象となるICの電極とプリント基板を結ぶ電気経路の役割を果たします。

IC検査用スプリングピンを使う検査対象物

パソコン・スマホ・タブレットをはじめとする様々な電子機器に半導体は使用されています。



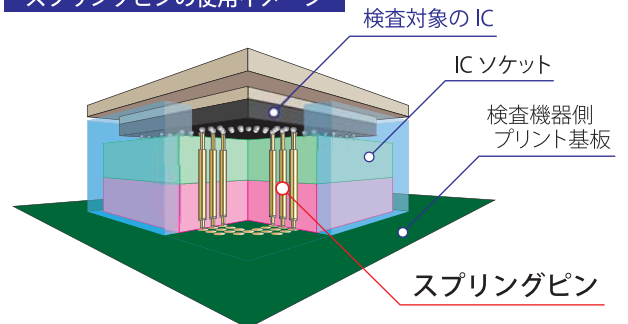
電子機器内部の基板上に実装(取付け)されているICなどの半導体製品



実装前のIC下面の例
スプリングピンを実装前のIC電極部分(球状ハンダ)に接触させて検査します。



スプリングピンの使用イメージ



スプリングピンの大きさの一例

